

市町村のがん検診事業の状況について

胃がん検診 (胃部エックス線検査)

青森県がん・生活習慣病対策課

2024(令和6)年12月2日

胃がん検診(X線)

1. 指針への対応状況

◆がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

死亡率の減少効果について科学的根拠のあるがん検診が、市町村の事業として行われるよう国が示した指針。

がん検診の種類	がん検診の内容		
	検査方法	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診、胃部エックス線検査 又は 問診、胃部内視鏡検査	50歳以上の男女 ※当分の間、胃部エックス線検査は40歳以上でも差し支えない	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査は年1回でも差し支えない

胃がん検診（X線）（集団検診） 40市町村で実施 → 指針順守は39市町村（昨年度：38/40）

胃がん検診（X線）（個別検診） 21市町村で実施 → 指針順守は20市町村（昨年度：18/21）

市町村名	令和6年度 指針への対応状況					
	検査方法	40	対象者	39	検診間隔	40
青森市	問診・胃部エックス線検査	○	50歳以上の男女	○	年1回	○
弘前市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
八戸市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
黒石市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
五所川原市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
十和田市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
三沢市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
むつ市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
つがる市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平川市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平内町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
今別町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
蓬田村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
外ヶ浜町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
鯉ヶ沢町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
深浦町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
西目屋村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
藤崎町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大舘町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
田舎館村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
板柳町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
鶴田町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
中泊町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
野辺地町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
七戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
六戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
横浜町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
東北町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
六ヶ所村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
おいらせ町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大間町	問診・胃部エックス線検査	○	30歳以上の男女	×	年1回	○
東通村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
風間浦村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
佐井村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
三戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
五戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
田子町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
南部町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
階上町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
新郷村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○

市町村名	令和6年度 指針への対応状況					
	検査方法	21	対象者	20	検診間隔	21
青森市	問診・胃部エックス線検査	○	50歳以上の男女	○	年1回	○
弘前市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
八戸市	問診・胃部エックス線検査	○	65歳以上の者及び40歳以上の心身障がい者	(○)	年1回	○
黒石市	—	—	—	—	—	—
五所川原市	—	—	—	—	—	—
十和田市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
三沢市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
むつ市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
つがる市	—	—	—	—	—	—
平川市	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
平内町	—	—	—	—	—	—
今別町	—	—	—	—	—	—
蓬田村	—	—	—	—	—	—
外ヶ浜町	—	—	—	—	—	—
鯉ヶ沢町	—	—	—	—	—	—
深浦町	—	—	—	—	—	—
西目屋村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
藤崎町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大舘町	—	—	—	—	—	—
田舎館村	—	—	—	—	—	—
板柳町	—	—	—	—	—	—
鶴田町	—	—	—	—	—	—
中泊町	—	—	—	—	—	—
野辺地町	問診・胃部エックス線検査 (30代は問診・ABC検査)	(○)	30歳以上の男女	×	年1回	○
七戸町	—	—	—	—	—	—
六戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
横浜町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
東北町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
六ヶ所村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
おいらせ町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
大間町	—	—	—	—	—	—
東通村	—	—	—	—	—	—
風間浦村	—	—	—	—	—	—
佐井村	—	—	—	—	—	—
三戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
五戸町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
田子町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
南部町	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○
階上町	問診・胃部エックス線検査	○	65歳以上の者及び40歳以上65歳未満の心身障害者	(○)	年1回	○
新郷村	問診・胃部エックス線検査	○	40歳以上の男女	○	年1回	○

	38	39	20
	まとめ	集団	個別
青森市	○	○	○
弘前市	○	○	○
八戸市	○	○	○
黒石市	○	○	—
五所川原市	○	○	—
十和田市	○	○	○
三沢市	○	○	○
むつ市	○	○	○
つがる市	○	○	—
平川市	○	○	○
平内町	○	○	—
今別町	○	○	—
蓬田村	○	○	—
外ヶ浜町	○	○	—
鯉ヶ沢町	○	○	—
深浦町	○	○	—
西目屋村	○	○	○
藤崎町	○	○	○
大舘町	○	○	—
田舎館村	○	○	—
板柳町	○	○	—
鶴田町	○	○	—
中泊町	○	○	—
野辺地町	×	○	×
七戸町	○	○	—
六戸町	○	○	○
横浜町	○	○	○
東北町	○	○	○
六ヶ所村	○	○	○
おいらせ町	○	○	○
大間町	×	×	—
東通村	○	○	—
風間浦村	○	○	—
佐井村	○	○	—
三戸町	○	○	○
五戸町	○	○	○
田子町	○	○	○
南部町	○	○	○
階上町	○	○	○
新郷村	○	○	○

〔令和6年度がん検診に関する調査（がん・生活習慣病対策課調べ）〕 ※指針を遵守=○、事業全体としては指針を遵守=(○)、遵守していない=×

胃がん検診(X線)

2. 市町村チェックリスト実施率 集団検診機関チェックリスト実施率

◆チェックリスト実施率 = 技術・体制指標

がん検診に関与する機関（市町村、検診機関、県）が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

＜胃がん検診(X線)＞ 市町村チェックリスト実施率(2023(R5)年度) 1

(1) 県全体の市町村チェックリスト実施率の状況

		胃がん検診(X線)			
		2015 (H27)		2023 (R5)	
		順位	都道府県名 CL実施率 (%)	順位	都道府県名 CL実施率 (%)
集団検診	-	全国 79.4	-	全国 83.6	
	1	香川県 98.5	1	福井県 98.5	
		.		.	
	38	青森県 69.7	13	青森県 91.9	
		.		.	
	47	沖縄県 55.1	47	沖縄県 64.1	

		胃がん検診(X線)			
		2016 (H28)		2022 (R5)	
		順位	都道府県名 CL実施率 (%)	順位	都道府県名 CL実施率 (%)
個別検診	-	全国 60.6	-	全国 74.6	
	1	福井県 94.3	1	福井県 98.6	
		.		.	
	30	青森県 55.8	24	青森県 79.8	
		.		.	
	47	秋田県 29.8	47	京都府 15.4	

地域別の2023(R5) チェックリスト実施率 (%)

青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北
86.5	90.9	89.2	98.7	92.1	94.6

地域別の2023(R5) チェックリスト実施率 (%)

青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北
69.2	65.4	81.7	—	82.4	98.1

＜胃がん検診(X線)＞ 市町村チェックリスト実施率(2023(R5)年度) 2

(2) 特に市町村の実施率向上が必要な項目(助言・指導項目)の状況

No	チェックリスト項目	実施状況	
		区分	2023(R5)
1	対象者全員に対して個別の受診勧奨を行う。	集団	27 / 40
		個別	15 / 22
2	未受診者に対して再勧奨を行う。	集団	8 / 40
		個別	6 / 22
3	個人別の受診台帳を作成する。(受診歴等の管理)	集団	39 / 40
		個別	22 / 22
4	受診勧奨時にがん検診の意義や精密検査の必要性等をリーフレット等で説明する。	集団	39 / 40
		個別	20 / 22
5	精密検査の結果を把握する。(漏れなく回収する体制がある。)	集団	40 / 40
		個別	21 / 22
6	市町村・検診機関・精検機関で精検結果を共有する。	集団	39 / 40
		個別	15 / 22

No	チェックリスト項目	実施状況	
		区分	2023(R5)
7	精密検査未受診者への個別の受診勧奨を行う。	集団	36 / 40
		個別	16 / 22
8	基準に沿った仕様書(精度管理項目を明記)を作成し、委託検診機関を選定する。	集団	39 / 40
		個別	17 / 22
9	検診機関へ精度管理評価をフィードバックする。	集団	27 / 40
		個別	12 / 22
10	プロセス指標を全体、性別・年齢5歳階級別、検診機関別、検診受診歴別に集計し、把握する。	集団	31 / 40
		個別	12 / 22
11	要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名の一覧を提示する。	集団	37 / 40
		個別	15 / 22

(※No 10は全てのプロセス指標を把握している市町村数)

<胃がん検診(X線)> 集団検診機関チェックリスト実施率(2023(R5)年度) 1

(1) 県内の集団検診実施機関チェックリスト実施率の状況

チェックリスト実施率・委託市町村数	検診機関名	胃がん検診(X線)			
		2022(R4)		2023(R5)	
		CL実施率(%)	委託市町村数	CL実施率(%)	委託市町村数
	青森県総合健診センター	100.0%	37	100.0%	37
	弘前市医師会健診センター	100.0%	1	100.0%	1
	八戸市総合健診センター	96.2%	2	96.2%	2
	八戸西健診プラザ	95.8%	5	95.8%	8
	五戸町健診センター	83.3%	2	91.7%	2
	公立七戸病院	70.8%	2	75.0%	2

※前年度から実施率が上昇した場合は桃色、低下した場合は青色とした

<胃がん検診(X線)> 集団検診機関チェックリスト実施率(2023(R5)年度) 2

(2) 各設問の実施状況

項目	設問	実施機関数 /調査対象 機関数	項目	設問	実施機関数 /調査対象 機関数
①受診者への説明	(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを明確に説明しましたか	6 / 6	②問診、 胃部エックス線撮影の 精度管理	(1) 検診項目は、問診に加え、胃部エックス線検査としましたか	6 / 6
	(2) 精密検査の方法について説明しましたか	6 / 6		(2) 問診は現在の症状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しましたか	6 / 6
	(3) 精密検査結果は市区町村等へ報告すること、また他の医療機関に精密検査を依頼した場合は、検診機関がその結果を共有することを説明しましたか	6 / 6		(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存していますか	6 / 6
	(4) 検診の有効性に加えて、がん検診で必ずがんを見つけられるわけではないこと(偽陰性)、がんがなくてもがん検診の結果が「陽性」となる場合もあること(偽陽性)など、がん検診の欠点について説明しましたか	6 / 6		(4) 胃部エックス線撮影の機器の種類を仕様書で明らかにし、撮影機械の基準は日本消化器がん検診学会の定める仕様基準を満たしていましたか	6 / 6
	(5) 検診受診の継続が重要であること、また、症状がある場合は医療機関の受診が重要であることを説明しましたか	6 / 6		(5) 胃部エックス線撮影の枚数は最低8枚とし、仕様書にも撮影枚数を明記していましたか	6 / 6
	(6) 胃がんがわが国のがん死亡の上位に位置することを説明しましたか	6 / 6		(6) 胃部エックス線撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式によるものとし、仕様書に体位及び方法を明記していましたか	6 / 6
				(7) 胃部エックス線撮影において、造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切に(180~220W/V%の高濃度バリウム、120~150mlとする)保つとともに、副作用等の事故に注意していましたか	6 / 6
				(8) 胃部エックス線撮影に携わった技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していましたか	4 / 6
				(9) 自治体や医師会等から求められた場合、胃部エックス線撮影に携わった技師の全数と日本消化器がん検診学会認定技師数を報告しましたか	3 / 3 ※求められた機関のみ回答

＜胃がん検診(X線)＞ 集団検診機関チェックリスト実施率(2023(R5)年度) 3

項目	設問	実施機関数 ／調査対象機 関数	項目	設問	実施機関数 ／調査対象 機関数
③ 胃 部 エ ク ス 線 読 影 の 精 度 管 理	読影をどこで行っていますか	自施設: 4 外 注: 1 自施設+外注: 1	④ シ ス テ ム と し て の 精 度 管 理	(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、遅くとも検診受診後4週間以内になされましたか	6 / 6
	(1) 自治体や医師会等から求められた場合、読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数もしくは総合認定医数を報告しましたか	3 / 3 ※求められた機関のみ回答		(2) がん検診の結果及びそれに関わる情報について、市区町村や医師会等から求められた項目を全て報告しましたか	5 / 6
	(2) 読影は二重読影とし、原則として判定医の一人は日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医でしたか	5 / 6		(3) 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果（内視鏡診断や生検結果、内視鏡的治療または外科手術所見と病理組織検査結果など）について、市区町村や医師会から求められた項目の積極的な把握に努めましたか	5 / 6
	(3) 必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影していましたか	6 / 6		(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会を設置していますか もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しましたか	4 / 6
	(4) 胃部エックス線画像は少なくとも5年間は保存していますか	6 / 6		(5) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握しましたか	4 / 6
	(5) 胃部エックス線による検診結果は少なくとも5年間は保存していますか	6 / 6		(6) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っていますか あるいは、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めましたか	5 / 6

胃がん検診(X線)

3. プロセス指標

◆プロセス指標

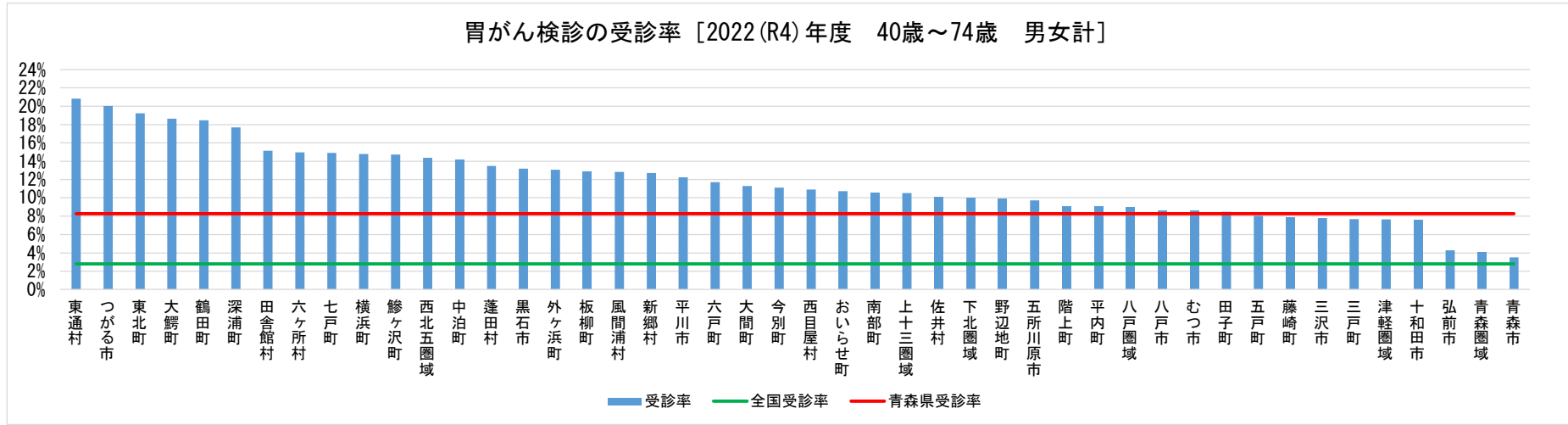
市町村のがん検診事業の各プロセス（受診者の募集、スクリーニング、精密検査への誘導、精密検査、事業評価）が適切に行われているかを評価するための指標。

2022 (R4) 年度 胃がん検診（胃部X線）の受診率（総数分）

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率

受診率は、検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標で、高いことが望ましい。

対象者数（分母）は対象年齢の全住民で、受診者数（分子）は市町村事業の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。



<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [2022 (R4) 年度 40歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	2.8%	8.3%	4.1%	7.7%	8.9%	14.4%	10.5%	10.0%	3.5%	4.3%	8.6%	13.2%	9.7%	7.6%	7.8%	8.6%	20.1%	12.2%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	40位	39位	31位	14位	28位	38位	36位	32位	2位	19位
受診者数	1,649,107	51,358	6,102	10,365	13,777	8,872	8,691	3,551	4,903	3,466	9,470	2,146	2,595	2,303	1,401	2,401	3,006	1,858
対象者数	59,203,380	620,270	150,336	135,405	154,708	61,735	82,597	35,489	139,283	81,296	109,582	16,262	26,653	30,268	17,987	27,928	14,991	15,182
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	9.0%	11.1%	13.5%	13.1%	14.7%	17.7%	10.9%	7.8%	18.7%	15.1%	12.9%	18.5%	14.2%	9.9%	14.9%	11.7%	14.8%	19.2%
順位	30位	22位	13位	15位	11位	6位	23位	35位	4位	7位	16位	5位	12位	27位	9位	20位	10位	3位
受診者数	507	130	181	381	715	684	65	566	853	560	851	1,122	750	630	1,145	629	304	1,581
対象者数	5,624	1,168	1,343	2,918	4,854	3,868	597	7,212	4,572	3,698	6,586	6,076	5,293	6,343	7,683	5,368	2,056	8,226
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	15.0%	10.7%	11.3%	20.8%	12.8%	10.1%	7.7%	8.0%	8.5%	10.5%	9.1%	12.7%						
順位	8位	24位	21位	1位	17位	26位	37位	34位	33位	25位	29位	18位						
受診者数	698	1,346	293	640	120	97	365	667	223	924	638	144						
対象者数	4,666	12,545	2,594	3,073	934	960	4,755	8,288	2,630	8,759	7,018	1,131						

※県平均より受診率が低い（ただし、対象者数が0の場合を除く）箇所を色付けしている。

（出典：2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告）

【受診率の計算方法について】

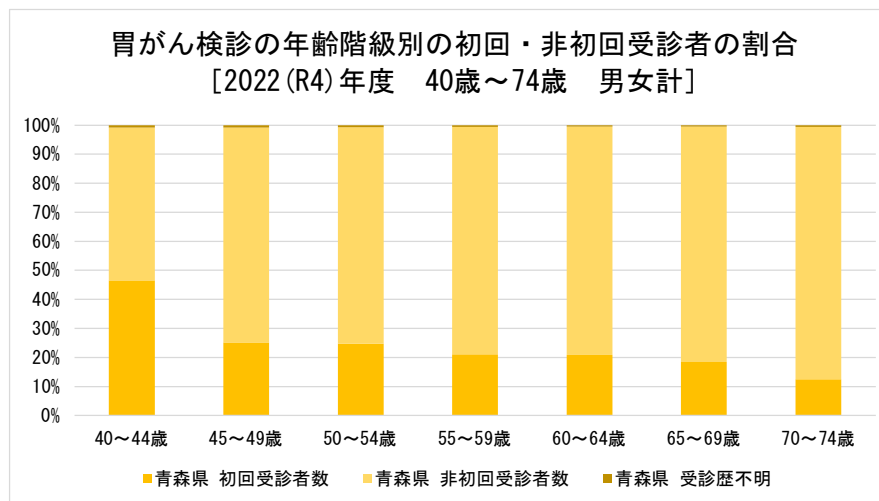
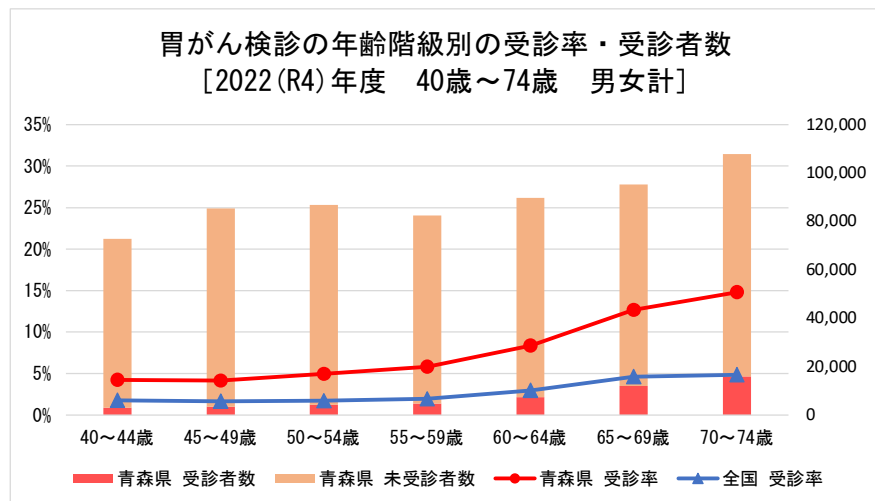
受診者数 ÷ 対象者数 = 受診率

※プロセス指標に合わせ75歳未満の受診率を計算しているため他の統計の受診率と異なる。

※内視鏡検査を実施している市町村の受診率は見かけ上低くなる。

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況 [自治体名：青森県]

検診受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか、初回受診者は多いか等）を確認する。



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [2022 (R4)年度 男女計]>

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	40～69歳	40～74歳
青森県 対象者数	72,772	85,437	86,779	82,480	89,672	95,230	107,900		512,370	620,270
青森県 受診者数	3,090	3,553	4,323	4,815	7,519	12,079	15,979		35,379	51,358
青森県 初回受診者数	1,437	890	1,070	1,011	1,567	2,224	1,989		8,199	10,188
青森県 非初回受診者数	1,628	2,634	3,225	3,777	5,917	9,794	13,897		26,975	40,872
青森県 受診歴不明	25	29	28	27	35	61	93		205	298
青森県 受診率	4.2%	4.2%	5.0%	5.8%	8.4%	12.7%	14.8%		6.9%	8.3%
全国 対象者数	8,021,130	9,494,844	9,453,819	8,002,903	7,400,227	7,540,026	9,290,431		49,912,949	59,203,380
全国 受診者数	144,093	157,887	164,871	157,186	221,475	351,149	452,446		1,196,661	1,649,107
全国 初回受診者数	77,151	49,028	51,897	42,513	62,473	81,847	71,914		364,909	436,823
全国 非初回受診者数	65,482	107,233	111,295	113,128	156,691	265,745	375,816		819,574	1,195,390
全国 受診歴不明	1,460	1,626	1,679	1,545	2,311	3,557	4,716		12,178	16,894
全国 受診率	1.8%	1.7%	1.7%	2.0%	3.0%	4.7%	4.9%		2.4%	2.8%

※受診者数は2022 (R4)年度の受診者数である。

※初回受診者数と非初回受診者数の合計が受診者数と一致しない、または初回受診者数と非初回受診者数を計上していない市町村があるため、そのような場合は受診歴不明として計上している。

※対象者数から受診者数を除いた人数を未受診者数と定義しているが、実際は職場や人間ドック等でがん検診を受診している者が含まれている。

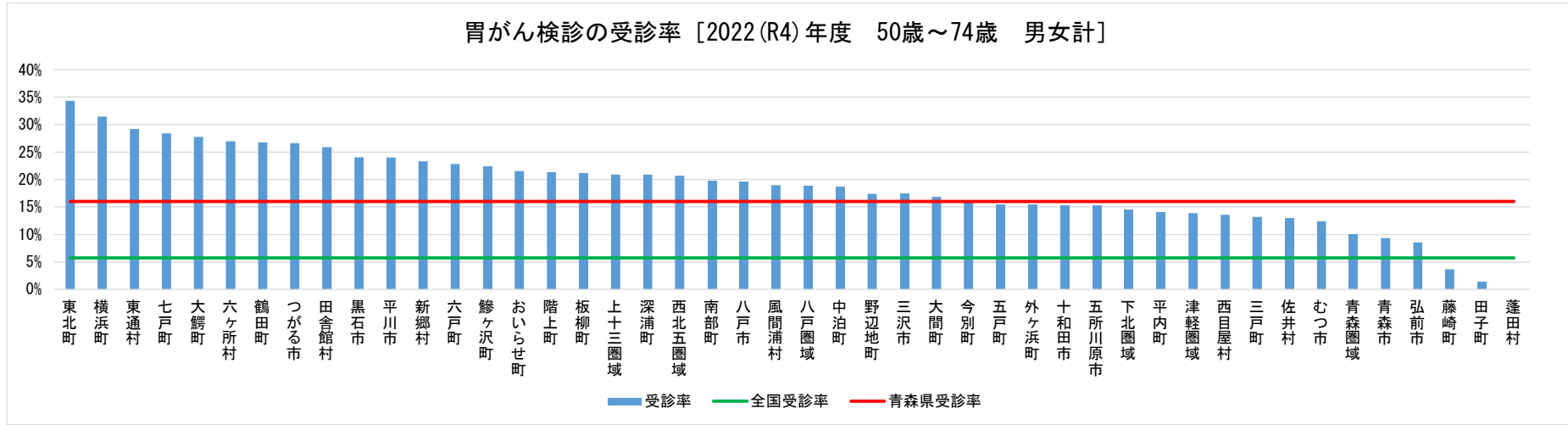
(出典：2022 (R4)年度地域保健・健康増進事業報告)

2022 (R4) 年度 胃がん検診（胃部X線）の受診率（国保分）

1. 胃がん検診（胃部X線）の受診率

受診率は、検診を受けるべき対象者が、実際に検診を受けたかを測る指標で、高いことが望ましい。

対象者数（分母）は対象年齢の国民健康保険被保険者で、受診者数（分子）は市町村事業の国民健康保険被保険者の受診者数であり、職域や人間ドックで受診している者は含まれていない。



<胃がん検診（胃部X線）の受診率 [2022 (R4) 年度 50歳～74歳 男女計]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
受診率	5.7%	16.0%	9.9%	13.9%	18.9%	20.7%	20.9%	14.4%	9.3%	8.6%	19.5%	24.1%	15.2%	15.2%	17.4%	12.4%	26.6%	24.0%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	36位	37位	20位	10位	30位	29位	24位	35位	8位	11位
受診者数	893,654	31,497	4,183	6,146	9,191	4,900	5,164	1,913	3,558	2,172	6,494	1,282	1,390	1,377	814	1,272	1,613	1,143
対象者数	15,584,969	196,913	42,344	44,229	48,712	23,660	24,700	13,268	38,099	25,402	33,284	5,329	9,121	9,034	4,679	10,266	6,065	4,757
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
受診率	14.1%	16.1%	0.0%	15.3%	22.4%	20.9%	13.6%	3.7%	27.8%	25.9%	21.1%	26.7%	18.6%	17.4%	28.4%	22.8%	31.5%	34.3%
順位	31位	26位	—	28位	14位	18位	32位	38位	5位	9位	17位	7位	22位	23位	4位	13位	2位	1位
受診者数	336	85	0	204	434	369	31	97	488	333	600	677	417	360	734	388	243	970
対象者数	2,387	527	0	1,331	1,939	1,767	228	2,623	1,757	1,286	2,847	2,531	2,237	2,068	2,586	1,703	772	2,826
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
受診率	26.9%	21.6%	16.9%	29.2%	19.0%	12.9%	13.2%	15.3%	1.3%	19.6%	21.3%	23.3%						
順位	6位	15位	25位	3位	21位	34位	33位	27位	39位	19位	16位	12位						
受診者数	278	767	176	336	77	52	241	482	14	622	462	109						
対象者数	1,032	3,559	1,042	1,152	406	402	1,830	3,144	1,094	3,167	2,166	468						

※県平均より受診率が低い（ただし、対象者数が0の場合を除く）箇所を色付けしている。

[受診率の計算方法について]

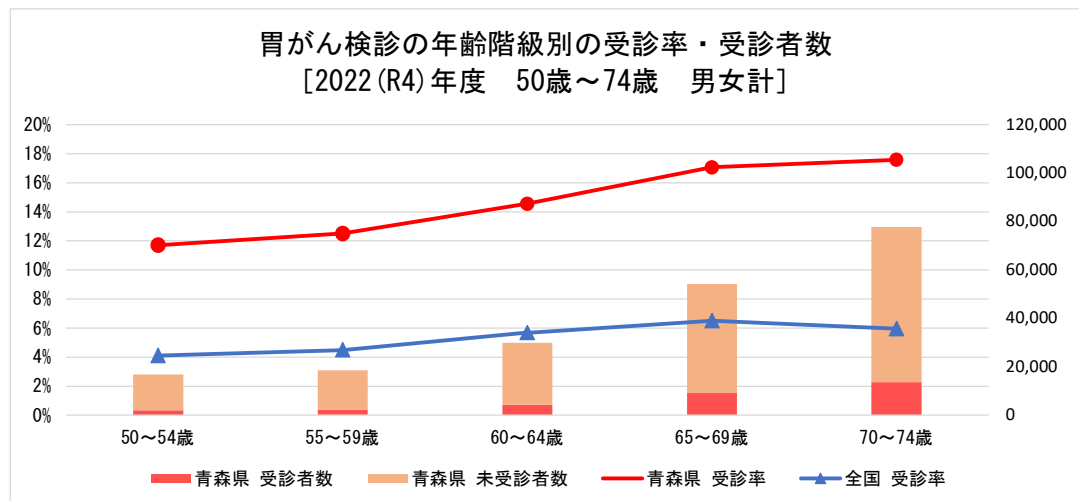
※受診率が0%の市町村は、対象者や受診者が0であるか、対象者が未把握のものである。

※内視鏡検査を実施している市町村の受診率は見かけ上低くなる。

（出典：2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告）

2. 胃がん検診（胃部X線）の受診者の状況 [自治体名：青森県]

検診受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い年齢層に偏っていないか等）を確認する。



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の受診者数・受診率 [2022 (R4) 年度 男女計] >

区分		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	50～69歳
青森県	対象者数			16,799	18,475	29,866	54,140	77,633		119,280
青森県	受診者数			1,964	2,309	4,345	9,236	13,643		17,854
青森県	受診率			11.7%	12.5%	14.5%	17.1%	17.6%		15.0%
全国	対象者数			1,549,487	1,490,376	2,116,256	4,057,452	6,371,398		9,213,571
全国	受診者数			63,486	66,827	120,097	263,885	379,359		514,295
全国	受診率			4.1%	4.5%	5.7%	6.5%	6.0%		5.6%

※受診者数は2022 (R4) 年度の受診者数である。

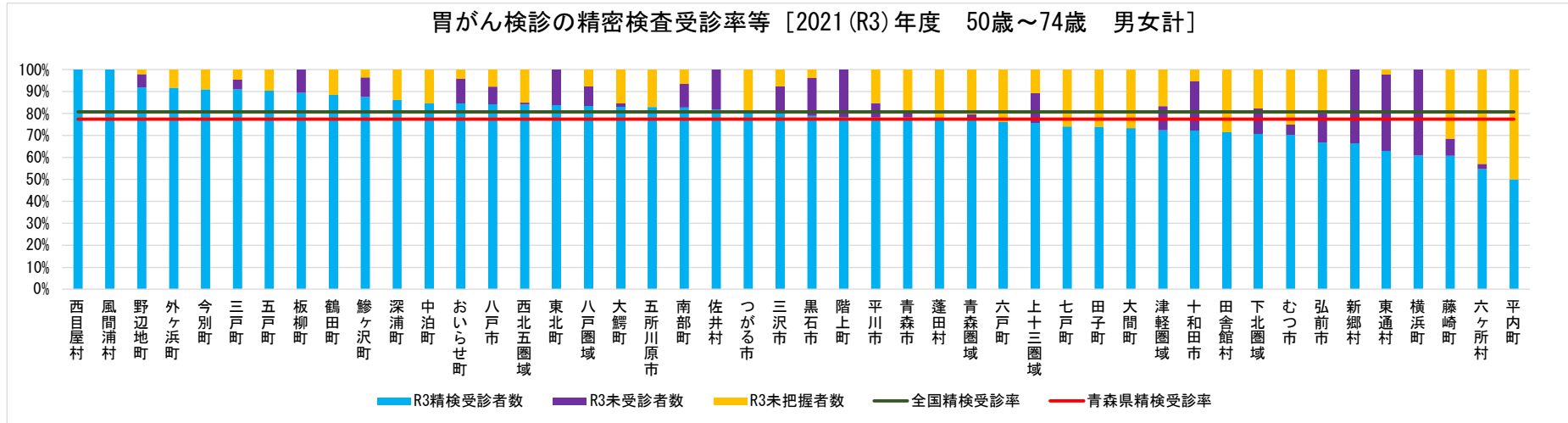
(出典：2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告)

2021 (R3) 年度 胃がん検診（胃部X線）のプロセス指標

1. 胃がん検診（胃部X線）の精密検査受診率・未受診者率・未把握率

精密検査受診率と未受診率は、要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標で、受診率が高いことが望ましい。

精検未把握率は、受診の有無や精検結果が適切に把握されたかを測る指標で、ゼロにすることが必要である。



<胃がん検診（胃部X線）の精密検査受診率等 [2021 (R3) 年度 50歳～74歳 男女計]>

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
精検受診率	80.7%	77.5%	77.1%	72.4%	83.7%	84.1%	75.9%	70.8%	78.1%	66.8%	84.2%	78.8%	83.0%	72.3%	80.5%	70.3%	81.5%	78.1%
順位	—	—	—	—	—	—	—	—	25位	34位	14位	22位	17位	31位	21位	33位	20位	24位
精検受診者数	69,069	2,606	394	698	466	491	409	148	338	278	239	123	112	112	62	90	172	118
要精検者数	85,583	3,364	511	964	557	584	539	209	433	416	284	156	135	155	77	128	211	151
区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
精検受診率	50.0%	90.9%	77.8%	91.7%	87.5%	86.2%	100.0%	60.7%	83.1%	71.4%	89.4%	88.5%	84.8%	91.8%	74.1%	76.2%	60.9%	83.9%
順位	40位	5位	26位	4位	10位	11位	1位	38位	16位	32位	8位	9位	12位	3位	28位	27位	37位	15位
精検受診者数	17	10	7	22	49	50	4	54	49	30	42	69	39	45	43	32	14	78
要精検者数	34	11	9	24	56	58	4	89	59	42	47	78	46	49	58	42	23	93
区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村						
精検受診率	54.8%	84.5%	73.3%	63.0%	100.0%	81.8%	90.9%	90.3%	73.9%	82.6%	78.6%	66.7%						
順位	39位	13位	30位	36位	1位	19位	5位	7位	29位	18位	23位	35位						
精検受診者数	23	60	11	29	9	9	20	56	17	38	22	14						
要精検者数	42	71	15	46	9	11	22	62	23	46	28	21						

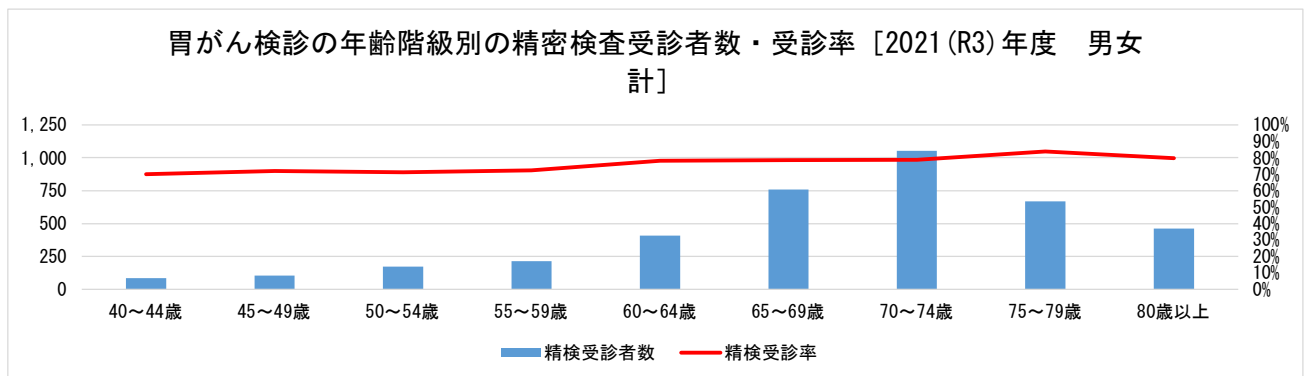
[精検受診率の計算方法について]
 精検受診者数 ÷ 要精密検査者数 = 精検受診率
 未受診者数 ÷ 要精密検査者数 = 未受診率
 未把握者数 ÷ 要精密検査者数 = 未把握率

※県平均より受診率が低い（ただし、要精検者数がゼロの場合を除く）箇所を色付けしている。

（出典：2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告）

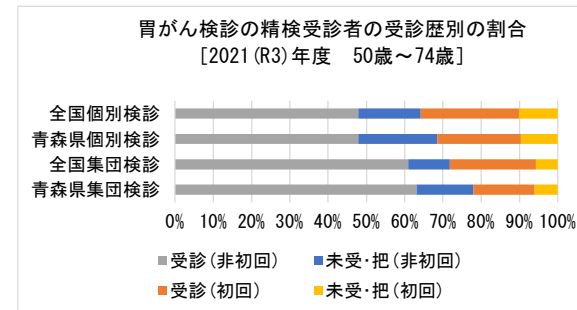
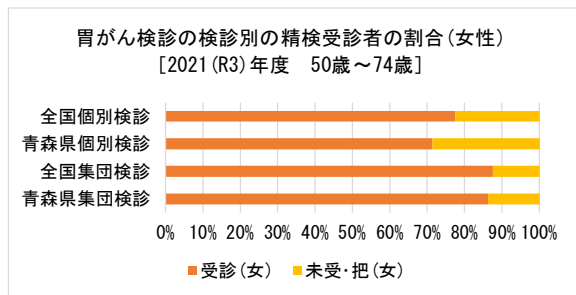
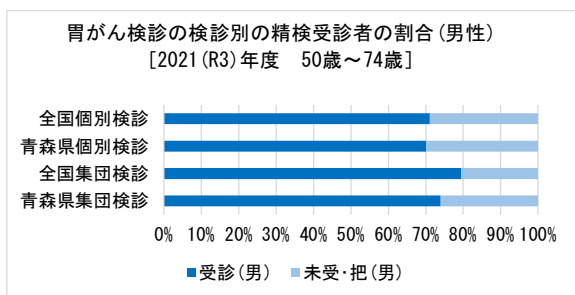
2. 胃がん検診（胃部X線）の精密検査受診者の内訳

精密検査受診者の年齢階級別の受診者数等により受診者の特性（有病率の高い性別・年齢層に偏っていないか、初回受診者は多いか等）を確認する。



<胃がん検診（胃部X線）の年齢階級別の精密検査受診者数・受診率 [2021 (R3) 年度 男女計] >

区分	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	合計	40～69歳	50～69歳
青森県 精検受診者数	86	105	171	214	409	759	1,053	667	461	3,925	1,744	1,553
青森県 要精検者数	123	146	240	296	523	966	1,339	795	578	5,006	2,294	2,025
青森県 精検受診率	69.9%	71.9%	71.3%	72.3%	78.2%	78.6%	78.6%	83.9%	79.8%	78.4%	76.0%	76.7%



<胃がん検診（胃部X線）の検診別・男女別の精検受診者数・割合 [2021 (R3) 年度 50歳～74歳] >

区分	受診(男)	受診(女)	受診(合計)	未受・把(男)	未受・把(女)	未(合計)	受診(男)割合	未受・把(男)割合	受診(女)割合	未受・把(女)割合
青森県集団検診	1,167	974	2,141	410	155	565	74.0%	26.0%	86.3%	13.7%
全国集団検診	28,798	24,058	52,856	7,449	3,403	10,852	79.4%	20.6%	87.6%	12.4%
青森県個別検診	246	219	465	105	88	193	70.1%	29.9%	71.3%	28.7%
全国個別検診	8,317	7,896	16,213	3,379	2,283	5,662	71.1%	28.9%	77.6%	22.4%

<胃がん検診（胃部X線）の受診歴別の精検受診者数・割合 [2021 (R3) 年度 50歳～74歳] >

区分	受診(非初回)	未受・把(非初回)	受診(初回)	未受・把(初回)
青森県集団検診	1,681	395	425	162
全国集団検診	37,574	6,742	13,910	3,482
青森県個別検診	295	127	135	59
全国個別検診	9,964	3,384	5,339	2,108

※初回・非初回別で計上できていない市区町村があるため
他の集計の精検受診者数と異なる場合がある。

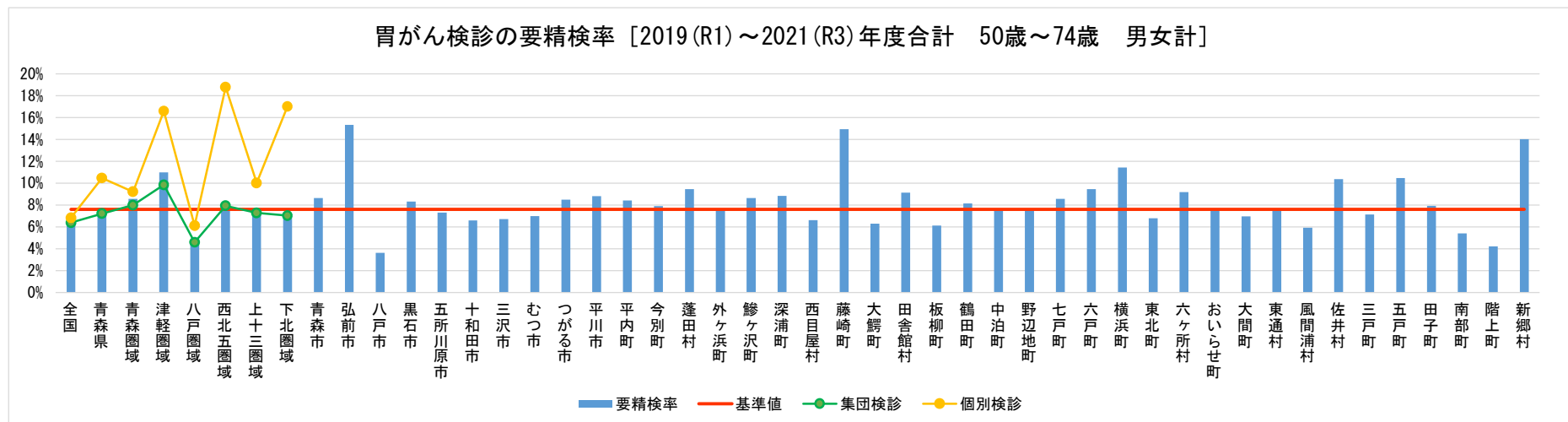
(出典：2022 (R3) 年度地域保健・健康増進事業報告)

3. 胃がん検診（胃部X線）の要精検率（参考値）

要精検率は、検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標。対象集団に応じて適切な範囲があり、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【胃がん検診（検診間隔1年）の要精検率の基準値=7.6%以下】



<胃がん検診（胃部X線）の要精検率 [2019 (R1) ~ 2021 (R3) 年度合計 50歳~74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
要精検率	6.5%	7.7%	8.6%	11.0%	4.8%	8.1%	7.5%	7.2%	8.6%	15.3%	3.6%	8.3%	7.3%	6.6%	6.7%	7.0%	8.5%	8.8%
要精検者数	281,469	11,243	1,879	3,262	1,841	1,833	1,759	669	1,597	1,538	955	498	480	449	227	425	671	473
受診者数	4,329,947	145,489	21,902	29,643	38,509	22,756	23,378	9,301	18,485	10,039	26,254	5,976	6,563	6,786	3,375	6,077	7,911	5,353

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
要精検率	8.4%	7.9%	9.5%	7.6%	8.6%	8.9%	6.6%	14.9%	6.3%	9.1%	6.1%	8.1%	7.6%	7.5%	8.6%	9.5%	11.4%	6.8%
要精検者数	115	35	49	83	170	117	9	335	133	133	143	241	154	154	232	140	101	299
受診者数	1,366	443	518	1,090	1,968	1,321	136	2,243	2,108	1,457	2,331	2,960	2,033	2,045	2,703	1,480	884	4,396

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
要精検率	9.2%	7.5%	7.0%	7.6%	5.9%	10.4%	7.1%	10.5%	7.9%	5.4%	4.2%	14.0%
要精検者数	157	239	53	131	21	39	65	219	59	153	85	66
受診者数	1,709	3,196	760	1,733	355	376	910	2,093	745	2,830	2,011	470

[要精検率の計算方法について]
各年度の要精検者数÷各年度の受診者数=要精検率

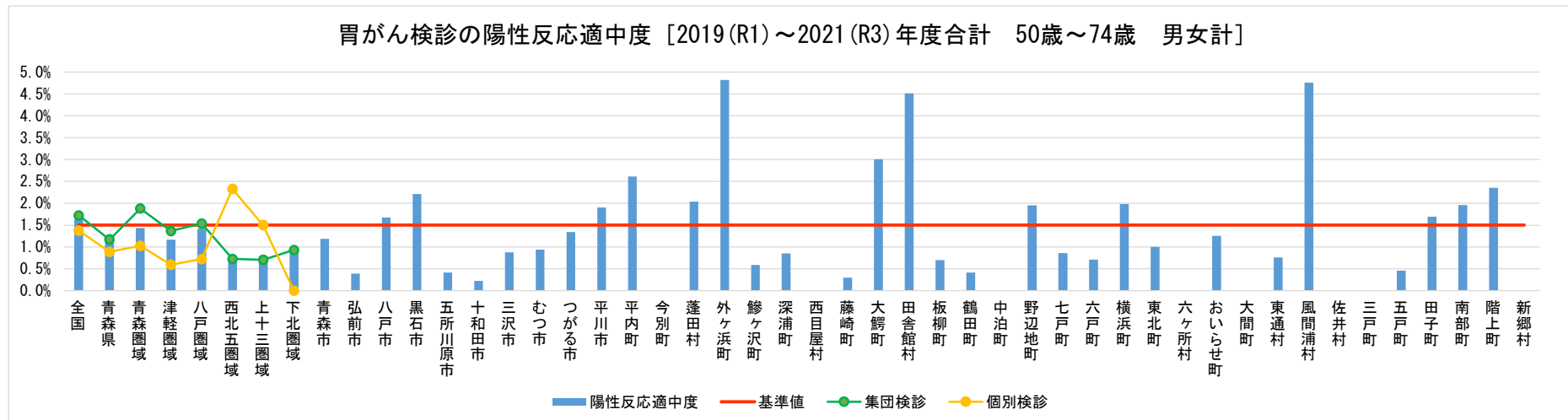
(出典：2020 (R2) ~ 2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告)

4. 胃がん検診（胃部X線）の陽性反応適中度（参考値）

陽性反応適中度は、その検診において、効率よくがんが発見されたかを測る指標。基本的に高いことが望ましいが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

精検受診率が低い場合や受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【胃がん検診（検診間隔1年）の陽性反応適中度の基準値=1.5%以上】



<胃がん検診（胃部X線）の陽性反応適中度 [2019 (R1)～2021 (R3) 年度合計 50歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
陽性反応適中度	1.6%	1.1%	1.4%	1.2%	1.4%	0.8%	0.8%	0.9%	1.2%	0.4%	1.7%	2.2%	0.4%	0.2%	0.9%	0.9%	1.3%	1.9%
がんであった者	4,594	125	27	38	26	14	14	6	19	6	16	11	2	1	2	4	9	9
要精検者数	281,469	11,243	1,879	3,262	1,841	1,833	1,759	669	1,597	1,538	955	498	480	449	227	425	671	473

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
陽性反応適中度	2.6%	0.0%	2.0%	4.8%	0.6%	0.9%	0.0%	0.3%	3.0%	4.5%	0.7%	0.4%	0.0%	1.9%	0.9%	0.7%	2.0%	1.0%
がんであった者	3	0	1	4	1	1	0	1	4	6	1	1	0	3	2	1	2	3
要精検者数	115	35	49	83	170	117	9	335	133	133	143	241	154	154	232	140	101	299

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
陽性反応適中度	0.0%	1.3%	0.0%	0.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.5%	1.7%	2.0%	2.4%	0.0%
がんであった者	0	3	0	1	1	0	0	1	1	3	2	0
要精検者数	157	239	53	131	21	39	65	219	59	153	85	66

[陽性反応適中度の計算方法について]

各年度のがんであった者 ÷ 各年度の要精検者数 = 陽性反応適中度

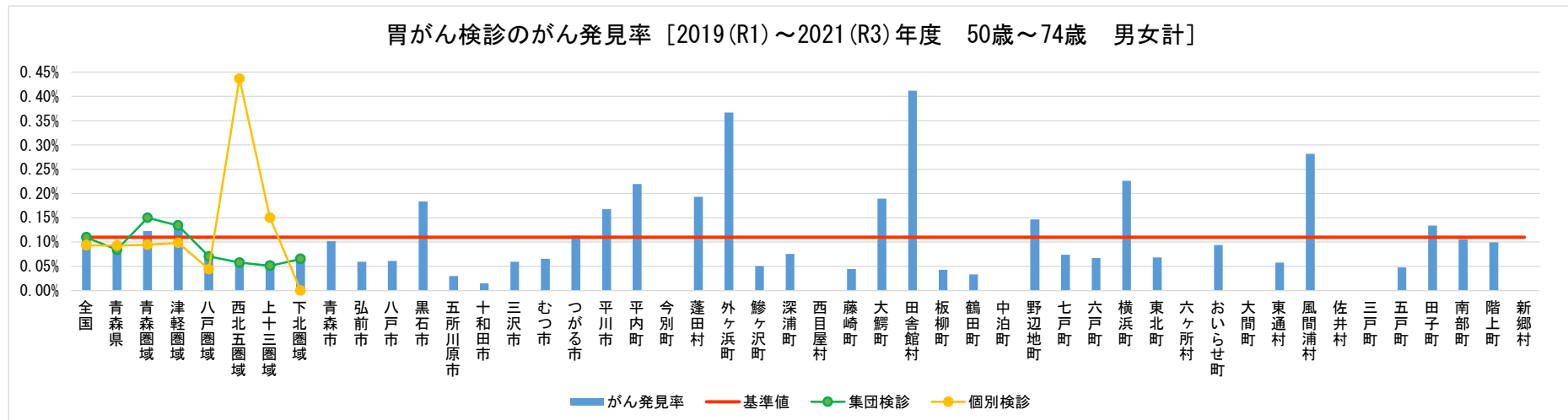
(出典：2020 (R2)～2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告)

5. 胃がん検診（胃部×線）のがん発見率（参考値）

がん発見率は、その検診において、適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標。基本的に高いことが望ましいが、極端な高値あるいは低値の場合は検討が必要となる。

精検受診率が低い場合や受診者数が少ない場合はバラツキが大きくなるため、評価を行う場合には注意が必要である。

【胃がん検診（検診間隔1年）のがん発見率の基準値=0.11%以上】



<胃がん検診（胃部×線）のがん発見率 [2019 (R1)～2021 (R3) 年度 50歳～74歳 男女計] >

区分	全国	青森県	青森圏域	津軽圏域	八戸圏域	西北五圏域	上十三圏域	下北圏域	青森市	弘前市	八戸市	黒石市	五所川原市	十和田市	三沢市	むつ市	つがる市	平川市
がん発見率	0.11%	0.09%	0.12%	0.13%	0.07%	0.06%	0.06%	0.06%	0.10%	0.06%	0.06%	0.18%	0.03%	0.01%	0.06%	0.07%	0.11%	0.17%
がんであった者	4,594	125	27	38	26	14	14	6	19	6	16	11	2	1	2	4	9	9
受診者数	4,329,947	145,489	21,902	29,643	38,509	22,756	23,378	9,301	18,485	10,039	26,254	5,976	6,563	6,786	3,375	6,077	7,911	5,353

区分	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	深浦町	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	鶴田町	中泊町	野辺地町	七戸町	六戸町	横浜町	東北町
がん発見率	0.22%	0.00%	0.19%	0.37%	0.05%	0.08%	0.00%	0.04%	0.19%	0.41%	0.04%	0.03%	0.00%	0.15%	0.07%	0.07%	0.23%	0.07%
がんであった者	3	0	1	4	1	1	0	1	4	6	1	1	0	3	2	1	2	3
受診者数	1,366	443	518	1,090	1,968	1,321	136	2,243	2,108	1,457	2,331	2,960	2,033	2,045	2,703	1,480	884	4,396

区分	六ヶ所村	おいらせ町	大間町	東通村	風間浦村	佐井村	三戸町	五戸町	田子町	南部町	階上町	新郷村
がん発見率	0.00%	0.09%	0.00%	0.06%	0.28%	0.00%	0.00%	0.05%	0.13%	0.11%	0.10%	0.00%
がんであった者	0	3	0	1	1	0	0	1	1	3	2	0
受診者数	1,709	3,196	760	1,733	355	376	910	2,093	745	2,830	2,011	470

[がん発見率の計算方法について]

各年度のがんであった者÷各年度の受診者数=がん発見率

(出典：2020 (R2)～2022 (R4) 年度地域保健・健康増進事業報告)